

令和6年度 後期 学校評価(自己評価) 結果

R 6 年 7 月実施

回 答 (A)あてはまる (B)だいたいあてはまる (C)あまりあてはまらない (D)あてはまらない

肯定評定 < (A)+(B) > ÷ < (A)+(B)+(C)+(D) > × 1 0 0

評 価 8 0 % 以上…A 6 0 % ～ 8 0 %…B 6 0 % 未満…C

評価					80%以上…A　60%～80%…B　60%未満…C					R6年前期評価					
項目					別	質問内容	肯定(A・B回答)		項目評価		考　察				
							割合(%)	評価							
1 ふるさと教育、保護者・地域との連携	(1)	ふるさと教育	教職員	伊方が好きで、良さを感じることでできる生徒が育つ教育の実践に努めている。	100.0	A	83.7	A		肯定率は80%以上。教職員、生徒と保護者との開きが大きい。学校の取組をホームページ等で発信していきたい。					
			生徒	あなたは、伊方が好きで、伊方の良さを感じている。	91.0	A									
			保護者	学校は、ふるさと伊方に誇りを感じることでできる教育を行っている。	60.0	B									
			地域												
	(2)	来校・相談体制	教職員	保護者や地域の方が来校したり、相談したりしやすい体制を作っている。	100.0	A	86.7	A		肯定率は80%以上。保護者の評価が下がっておりSCの相談日等を月行事予定で知らせるなど啓発を行う。今後も外部の方が来られた時に気持ちよく応対できるよう努めていきたい。					
			生徒	保護者や地域の方がよく来校したり、生徒の様子を見守ってくれたりしている。	75.2	B									
			保護者	学校は、保護者や地域の方が来校したり、相談したりしやすい体制を作っている。	71.4	B									
			地域	学校は、訪問しやすい雰囲気づくりをしている。	100.0	A									
	(3)	情報発信	教職員	教育活動に関する情報を、HPや通信等で積極的に家庭・地域に知らせよう努めている。	100.0	A	93.2	A		肯定率は90%以上。教職員、保護者、地域の肯定率は高い。生徒の肯定率がやや低い。これからも積極的に更新し、学校での取組を発信していきたい。					
			生徒	学校は、HPや通信等で、学校の様子を家庭や地域に知らせている。	78.6	B									
			保護者	学校は、HPや通信等で、学校の様子を家庭や地域に知らせていると思う。	94.3	A									
			地域	学校は、HPや通信等で、学校の様子を家庭や地域に知らせていると思う。	100.0	A									
	(4)	PTA・連携・地域	教職員	保護者や地域の方と接する機会に積極的に参加し、その意見を教育活動に生かすよう努めている。	100.0	A	85.8	A		肯定率は80%以上。保護者の肯定率は上がっている。生徒の肯定率が低く、奉仕作業等へは参加しているが、個人で行事に参加しているという認識がないためと考える。各種行事のお知らせや啓発を行う。					
			生徒	あなたは、地域行事などに積極的に参加している。	57.3	C									
			保護者	保護者として、PTAの活動や地域の行事に、よく参加している。	85.7	A									
			地域	伊方中の生徒は、地域の行事などに積極的に参加してくれる。	100.0	A									
2 支え合う仲間、集団づくりの推進	(5)	いじめのない学校づくり	教職員	学級や部活動が、いじめがなく、支え合ったり励まし合ったりする集団となるよう努めている。	100.0	A	82.0	A		肯定率は80%以上。教職員、生徒の肯定率は高いが、保護者の肯定率は60%と低い。昨年度の前期も同じ傾向である。保護者の方との対話を大切にしたり、学校の取組をホームページ等で発信したりしていきたい。					
			生徒	学級や部活動などは、支え合ったり励まし合ったりする雰囲気ができている。	83.1	A									
			保護者	学校は、いじめのない学級づくりや部活動経営に取り組んでいる。	62.8	B									
			地域												
	(6)	教育相談	教職員	生徒と関わりを多く持ち、生徒の悩みに気付き、相談に応じている。	100.0	A	86.1	A		肯定率は80%以上。教職員、生徒の肯定率は上がっている。引き続き、定期的に教育相談等を実施するとともに、日常の関わりを大切に、いじめの未然防止、早期発見に努めていきたい。					
			生徒	先生は、生徒が友だをいじめたり、仲間はずれにしたりしないように、正しく指導している。	89.9	A									
			保護者	先生は、お子さんの心配事や悩みに気付き、相談に応じている。	68.5	B									
			地域												
	(7)	支え合う仲間づくり	教職員	生徒同士の人間関係に配慮し、孤立生徒をつくらない集団づくりに努めている。	100.0	A	90.0	A		肯定率は80%以上。三者とも肯定率は高い。これからも良好な人間関係が維持できるよう努めていきたい。					
			生徒	あなたは、心配ごとや悩みごとを気軽に話したり相談したりできる友だちがいる。	84.2	A									
			保護者	お子さんには、心配ごとや悩みごとを気軽に話したり相談したりできる友だちがいる。	85.7	A									
			地域												
	(8)	他者理解、思いやりの心	教職員	生徒は、お互いの良さを認める思いやりの心が育っている。	93.4	A	95.9	A		肯定率は90%以上。三者とも肯定率は高い。思いやりをもった生徒がしっかり育っている。					
			生徒	あなたは、友だちの良さを認め、思いやりの心を持って生活している。	94.4	A									
			保護者	お子さんは、お互いの良さを認める思いやりの心が育っている。	100.0	A									
			地域												
3 規律ある学校づくり	(9)	決まりやルール	教職員	生徒は、社会や学校の決まりやルールを守って生活している。	100.0	A	96.9	A		肯定率は90%以上。四者とも肯定率は高い。引き続き、学校生活全体を通しての指導を継続していきたい。					
			生徒	あなたは、社会や学校の決まりやルールを守って生活している。	93.2	A									
			保護者	お子さんは、社会や学校の決まりやルールを守って生活している。	94.3	A									
			地域	伊方中の生徒は、社会や学校の決まりやルールを守って生活している。	100.0	A									
	(10)	気持ちのよいあいさつ	教職員	生徒は、学校や地域で気持ちのよいあいさつをしている。	83.4	A	87.3	A		肯定率は80%以上。やや生徒の肯定率が低い。学級や部活動など様々な場面で、挨拶のもたらす良い影響に触れ、自発的に気持ちのよい挨拶ができるよう努めたい。					
			生徒	あなたは、学校や地域で、気持ちのよいあいさつができている。	79.8	B									
			保護者	お子さんは、家庭や地域で気持ちのよいあいさつをしている。	85.8	A									
			地域	伊方中の生徒は、家庭や地域で気持ちのよいあいさつをしている。	100.0	A									
	(11)	正しい言葉遣い	教職員	生徒は、時と場に応じた正しい言葉遣いで会話している。	100.0	A	93.7	A		肯定率は90%以上。四者とも肯定率は高い。この状態を続けていきたい。					
			生徒	あなたは、正しい言葉遣いで友達や先生と会話ができている。	83.2	A									
			保護者	お子さんは、時と場に応じた正しい言葉遣いで会話ができている。	91.5	A									
			地域	伊方中の生徒は、時と場に応じた正しい言葉遣いで会話ができている。	100.0	A									
	(12)	適切な生徒指導	教職員	生徒の間違った行動に対して、毅然たる態度で適切に指導している。	100.0	A	82.9	A		肯定率は80%以上。保護者の肯定率が低く、教職員で共通理解を図り、日頃の関わりを一層大切に、適切に指導していきたい。					
			生徒	先生は、生徒の間違った行動に対して、適切に指導してくれている。	88.8	A									
			保護者	先生は、生徒の間違った行動に対して適切な指導をしている。	60.0	B									
			地域												

4	(13)	分かる授業	教職員	分かる授業を展開するために、ICT機器の利用等、授業改善に努めている。	83.3	A	87.8	A	肯定率は80％以上。教職員、生徒とも肯定率が高い。これからも積極的に授業改善に取り組み、質の高い授業を提供していきたい。
			生徒	先生は、ICT機器を利用したりするなどして、分かりやすい授業になるよう工夫している。	92.2	A			
			保護者						
			地域						
	(14)	活発な授業	教職員	生徒は、授業中にしっかり考え、意欲的に挙手や発表、意見交換などを行うことができる。	83.3	A	72.0	B	肯定率は70％以上。昨年度後期に比べると教職員の肯定率が上がっており、生徒の取組の向上が伺える。発問の場や内容をより工夫し、継続したい。
			生徒	あなたは、授業中にしっかり考え、意欲的に挙手や発表、友達と意見交換などを行うことができる。	60.6	B			
			保護者						
			地域						
	(15)	確かな学力	教職員	生徒は、学習内容を理解し、基礎的・基本的な学力が身に付いている。	83.3	A	77.0	B	肯定率は70％以上。生徒、教職員の肯定率が高いが、保護者との差がある。昨年度と比較して、教職員、生徒は向上しており、引き続き、基礎学力の定着を図っていきたい。
			生徒	あなたは、学校で習った、基礎的・基本的な学習内容を理解している。	82.1	A			
			保護者	お子さんは、学習内容を理解し、基礎的・基本的な学力が身に付いている。	65.7	B			
			地域						
	(16)	家庭学習	教職員	生徒は、家庭学習が習慣化されている。	66.7	B	69.3	B	肯定率は60％以上。昨年度同様、高いとはいえない。保護者の協力を得ながら、地道に指導していきたい。
			生徒	あなたは、毎日の家庭学習が習慣になっている。	69.7	B			
			保護者	お子さんは、毎日の家庭学習の習慣が身に付いている。	71.4	B			
			地域						
5	(17)	登下校の安全	教職員	生徒は、登下校の安全に努めている。	100.0	A	97.5	A	肯定率は90％以上。四者とも肯定率が高い。登下校中の事故の事例はないが、引き続き安全な登下校について指導していきたい。
			生徒	あなたは、安全に気を付けて登下校している。	95.5	A			
			保護者	お子さんは、安全に気を付けて登下校している。	94.3	A			
			地域	伊方中の生徒は、安全に気を付けて登下校している。	100.0	A			
	(18)	生活リズムと健康管理	教職員	生徒は、望ましい生活リズムを身に付け、健康管理に気を付けて生活している。	66.7	B	67.0	B	肯定率は60％以上。三者とも肯定率は低い。SNSの利用状況等において、生活リズムの改善が必要と考える。保護者の方の協力を仰ぎながら、指導していきたい。
			生徒	あなたは、望ましい生活リズムを身に付け、健康管理に気を付けて生活している。	68.5	B			
			保護者	お子さんは、望ましい生活リズムを身に付け、健康管理に気を付けて生活している。	65.7	B			
			地域						
	(19)	清掃活動	教職員	生徒は、清掃活動など日常的な環境美化活動に努めている。	83.4	A	82.2	A	肯定率は80％以上。教職員、生徒とも肯定率が高い。引き続き、清掃活動や奉仕活動を大切にする生徒を育てていきたい。
			生徒	あなたは、清掃活動など日常的な環境美化活動に努めている。	80.9	A			
			保護者						
			地域						
6	(20)	部活動	教職員	生徒は、部活動に積極的に取り組んでいる。	100.0	A	91.8	A	肯定率は90％以上。生徒の肯定率がやや低い。引き続き、生徒の主体性を大切にしながら有意義な活動となるよう指導していきたい。
			生徒	あなたは、部活動に意欲的に取り組んでいる(いた)。	78.6	B			
			保護者	お子さんは、部活動に意欲的に取り組んでいる(いた)。	88.6	A			
			地域	伊方中では、部活動が活発に行われている。	100.0	A			
	(21)	生徒会行事や	教職員	生徒は、生徒会活動や学校行事に自主的・意欲的に取り組んでいる。	83.4	A	89.4	A	肯定率は80％以上。引き続き、それぞれの特徴に応じた活躍の場を工夫するとともに役割を果たす大切さを感じられる活動としていきたい。
			生徒	あなたは、生徒会活動や学校行事に自主的・意欲的に取り組んでいる。	85.4	A			
			保護者	お子さんは、生徒会活動や学校行事に意欲的に取り組んでいる。	88.6	A			
			地域	伊方中では、行事が活発に行われている。	100.0	A			
	(22)	リ進路指導・キャリア	教職員	生徒理解に努め、一人一人を大切にするキャリア教育を推進している。	100.0	A	82.6	A	肯定率は80％以上。三者の肯定率に開きが見られる。引き続き生徒の自己実現を支援するキャリア教育の充実に努めていきたい。
			生徒	あなたは、将来の進路や職業などについて考えることができる。	76.4	B			
			保護者	お子さんは、将来の進路や職業などについて考えている。	71.4	B			
			地域						